

年度当初にお示した本校各分掌の重点目標の達成度に対する中間評価を行いました。1学期末に実施した「中間評価のためのアンケート」（生徒・保護者の一部と教職員に実施）の結果を踏まえた中間評価の状況を報告します。（四角枠内は本年度重点目標です。）

〈学習指導〉～学習習慣の確立と学力向上を目指して～

○ 家庭学習を定着・増加させる。

アンケート結果を見ると、生徒に対する「先生方は、平日の家庭学習時間が増加するように課題を出している」という質問の肯定率が、学年によって差があることが分かる（1年72.7%、2年90.7%、3年61.3%）。3年生は受験勉強にシフトしているとも考えられるが、各学年と連携し、生徒にとって必要な課題を適切に出せるよう働きかけていきたい。

昨年度の学習に関する調査では、課題の学習は自宅ですが、小テストの学習は学校でしているという生徒が多いことが分かった。今年度のアンケート結果を見ても、保護者に対する「お子様は、家庭で平日に学習している」という質問の肯定率は60%弱に留まっていることが分かる。今年度も学習に関する調査を継続して実施し、その結果を踏まえて、より生徒の家庭学習に直結する課題の出し方や、小テストの実施方法などを模索していきたい。

〈教育情報〉～情報セキュリティの向上を目指して～

○ 情報機器を安全に運用する。

教員に対して、情報機器の扱い方や管理方法に関する現職研修を行った。特に、プロジェクトの様々な使い方を紹介し、積極的かつ安全に利用してもらえるよう呼びかけた。また、ネットワーク内の電子データの管理状況を点検・改善した。

〈進路指導〉～夢の実現を目指して～

○ キャリア教育や面接試験指導を充実させ、地元企業や大学等と連携し、地域に貢献できる人材を育成する。

1、3年生の総合学習において、本校教員による進路講話や外部講師を招いての進路講演会を実施した。生徒へのアンケート回答から、進路指導部主催の行事を実施できなかった2年生の肯定率が高い結果となった。2年学年団による日々の学習指導や学年集会、朝学等への積極的な取組が、生徒の進路実現に対する意識を向上させていると判断できる。今後も課外授業や進路情報の提供を継続し、進学希望者への個別指導と就職希望者への面接指導を全職員が担い、生徒の進路実現を支援していくことが大切である。

〈生徒指導〉～基本的な生活習慣の確立を目指して～

- けじめある生活を送れるようにさせる。
- 交通マナーを通し命の大切さを学ばせる。
- いじめの未然防止と早期発見に努める。

身だしなみに関して、保護者100%、生徒92.5%とかなり高い肯定率を示した。全職員における指導が定着していると思われる。遅刻指導、交通安全指導に関しても80%を超す高い肯定率である。しかし、いじめの未然防止に関しては、保護者の肯定率が43%とかなり低い値を示した。今後どうやって学校生活でのいじめ未然防止活動を保護者に示していくかが課題である。

〈生徒会〉～生徒会活動の充実を目指して～

○ より多くの生徒が学校行事に主体的に参加できるようにするとともに、家庭や地域にも活動の様子を発信していく。

学校行事、ボランティア活動に関して積極的に参加できるよう働きかけている、という項目に関して生徒は約80%の肯定率であったのに対し保護者が約60%と少し低い肯定率を出した。今年度から保護者向けに生徒会通信を発行しているのだが、より保護者に生徒会活動の様子を発信できるように、内容をよいものにしていきたい。

〈PTA活動〉～PTAの充実を目指して～

○ 持続可能なPTA活動体制づくりを進める。

年度によって目標の文言が異なったり、若干の例外事象があったりするとはいえ、保護者の方々からの肯定率は概ね上昇傾向にある（H27年度：57.3%、H28年度：92.1%、H29年度：83.2%、H30年度：92.0%）。クラス数が減少し、それに伴い、保護者の数も減少しているが、学校祭のPTAバザーなどには多くの方々に参加して頂き、充実した活動になっている。PTA会員数もしばらく減少するので、今後も持続可能な活動体制づくりをすすめていきたい。

〈防災学習〉～防災学習の充実を目指して～

○ 防災意識を向上させる。

昨年度と比較して、生徒の肯定率が上昇している（1年 48.1%→63.5%、2年 64.9%→73.3%、3年 68.4%→73.0%）。同一学年同士の比較では、今年度の2年生（＝昨年度の1年生）では約25%、今年度の3年生（＝昨年度の2年生）では約8%それぞれ上昇している。年2回の防災学習と、抜き打ちのシェイクアウト訓練などにより、意識が向上しているかと思われる。事実、実際の地震が発生した際、多くの生徒が迅速な避難行動を取った。

〈学校保健〉～落ち着いて学ぶことのできる教育環境を目指して～

○ 生徒が落ち着いて学ぶことのできる学習環境の充実に努める。

朝の健康観察では、担任が声をかけて体調不良の有無を確認している。また、表情などが気になる生徒には個人的に声をかけ、保健指導や相談指導を早期に実施している。支援が必要な生徒を早期に発見し、養護教諭、相談係、クラス担任等の関係者が連携して情報交換できるような体制づくりを更に充実させていきたい。

清掃時には、環境美化委員がゴミステーションでの分別を行っている。生徒が主体的に活動することによって、他の生徒に刺激を与えることができている。また、部活動の生徒が自主的に駐輪場を掃除したり、バス停のゴミを片付けたりしていることもあり、環境美化に対する意識が高まっていることがうかがえる。

〈図書館活動〉～読書活動の充実を目指して～

○ 生徒の知性や自己有用感を育むため、図書館利用や朝の読書活動を充実させる。

「朝の読書」は定着しているが、より順調に行われるように、今年度から各クラスに「朝読文庫」を設置した。図書館便りや館内展示、授業での図書館利用の呼びかけの結果、図書館利用者は増加している。さらに自主的な読書活動ができる契機を増やしていきたい。また、昨年度の反省を踏まえながら、保護者に対する広報活動を今年度も行った。

〈現職研修〉～教職員の資質向上を目指して～

○ 各研修、業務を円滑に実施できるようにする。

○ 多忙化解消に向けて、ワークライフバランスを意識した環境整備に努める。

現職研修では、情報セキュリティ講習会(教務情報係)、応急手当講習会(保健部)を実施した。各係・分掌が趣向を凝らしたワークショップ形式で行ったためか、例年以上に好評であった。今後も各分掌と協働し、恒例の研修を滞りなく実施していきたい。

また、多忙化解消への取組みとして、職場環境の整備・充実を促していきたい。

豊橋西高校のホームページを御覧ください。
(<http://www.toyohashinishi-h.aichi-c.ed.jp/>)
学校行事の予定、活動の様子等を紹介しています。